

2021/04/26 (月)

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 24章25-32節 (新約聖書160頁)

そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

ふさわしい旅人

二人の弟子がイエスの死に絶望して都を離れました。まさかそこへイエスが近づき一緒に歩き始めるとは知らず、その見知らぬ人へイエスを失った無念を嘆くのでした。彼らの心には十字架で殺され墓に葬られたイエスしか残っていませんでした。そこでイエスはご自身について聖書(旧約聖書)から説き明かしたのです。

夕方になり二人の弟子は「一緒にお泊まりください」とイエスを引き止めました。それから食事を共にした時、二人の目が開けイエスだと分かりましたが、その姿が見えなくなりました。それは彼らが生前のイエスを見たからではなく、新しいイエスの存在を心に感じたからです。彼らはそれを「心は燃えていた」と言ったのです。

英和女学院に入学された皆さんは3年後、6年後へ向けて旅を続けています。まだ出発したばかりの新入生もいれば、目的地を目前にしている「黄色」の皆さんもいます。そして英和生の誰もが、新しい朝を迎える度に聖書の言葉に耳を傾けているのは、あの二人の弟子に聖書を説き明かされたイエスに会うためです。

それはあなたがどんなに弱く、小さくされている時でも、あなたには「一緒にお泊まり下さい」と、あなたの心にイエスを迎え入れる資格があるということです。イエスは外に見える方ではなく、あなたの心を慰め、励まされる方であり、そして英和生はそれを与えられるにふさわしい旅人なのです。

(しばらく黙祷しましょう)

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

弟子たちは目が遮られ、あなたがわかりませんでした。でもあなたの方から弟子たちに近づき、一緒に歩き、聖書を説き明かし、弟子たちの心を励まして下さいました。どうかあなたに励まされ、あなたの導きを信じ、あなたと共に旅路を歩む英和生を祝福して下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活をお守り下さい。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン